

巻頭特集

井俣町政 第2期スタート

いままたけんじ町長 大解剖

4月24日に行われた東郷町長選挙で井俣憲治氏が再選を果たしました。

2007年の町議会議員初当選以来、投票数が前選挙を下回ることがない井俣町長の魅力に迫りました。取材で見えたのは、人を惹きつけてやまない人柄でした。

理屈・道理を重んじる人情系 理論派

柔和な語り口と傾聴の姿勢から、感情を重んじる人なのかと思いきや、「理屈がわからないと嫌なタイプで理論派です」と自己分析。財政収支、予算案、事業計画など、公務には根拠と堅実明確なビジョンが必須です。「2期に掲げた公約は、すべて実現させる」と力強く話します。1期に築いたふるさと納税収入や国・県の補助金獲得、財政貯金約15億円増の健全な財政が、公約実現を支えています。

想像力豊かなアイデアマン プランナーでプレゼンター

財政を安定させ、充実した行政サービスを提供し、町民を笑顔にする。そんな好循環を生むアイデアを常日頃考えている井俣町長。自宅で家族と映画やテレビ番組を楽しんでいる時でも、映像からヒントを得たらメモ帳に書き込んでいます。職員や関係者と実現に向けたプランを練り、町民の賛同を得る。プランナーでありプレゼンターたる姿が多くの支持を集めています。

「一人の生活者」と自らを名乗る感性の持ち主

常に地域住民でいること。その立ち位置や感覚を重視し、「実権をもつ者が勘違いしてはいけない」と語気を強めます。力をもっているからこそ気をつけるべきは、職責と職権濫用を混同しないことだと説きます。「町長という呼び名も、あだ名のように思っている」と言い、職員も役職ではなく名前で呼んでいるそうです。政治は突き詰めれば、「人」対「人」。相手が誰であっても同じ立場で話を聞きます。

人を喜ばせるのが大好き！ 生粋の「喜ばせ屋」

道の駅計画中止を皮切りに、「町民の幸せにつながる施策」を次々と打ち出します。好評のオーガニック給食や全アレルギー対応給食、妊産婦タクシーチケット交付、高齢者参加社会ポイント制度など、狙いは実施の先にある町民の行動と、そこに咲く笑顔です。「人は幸せなところに集まり、笑顔は伝染する」を信条に、今期も町民の幸せと東郷町の未来に向けて、全力投球です。

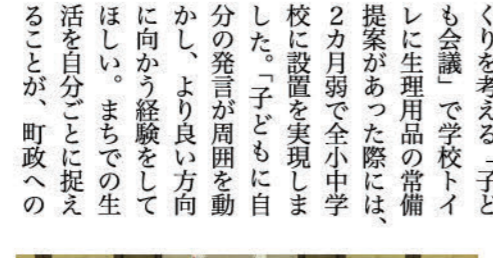
profile 東郷町 町長 井俣憲治 1966年10月28日生まれ、55歳。県立東郷高校卒、愛知大学法経学部卒業後、新日本証券(現・新光証券)、日栄(現・日本保証)などに勤務。働きながら司法書士資格を取得し、プログラミングなどを学ぶ。2018年東郷町長に就任。

町民の評価と期待に応える 意欲と喜びの第2期へ

再選が決まった4月25日朝井俣憲治町長は、いつものように横断旗を手に、登校する子どもたちを見守っていました。子どもたちからは「当選おめでとう！」など祝福の声がかげられ、「給食のメニューを増やして、宿題を減らしてほしい」と、かわいらしい要望も飛びます。現職公務と並行しての選挙戦を振り返り、「後援会をはじめ、支持者の皆さんの支えがあったこそ。選挙期間中は僕よりも後援会の方たちが何十倍も歩いていきます」と感謝の言葉を口にしました。東郷町で生まれ育ち、東京での勤務経験を経て、両親の他界を機に帰郷。地域活動を手伝うなかで、町

年に初当選、2018年に町長に就任しました。道路整備や自然保持、高齢者福祉など、数ある施策のなかでも力を入れるのが子育て・教育分野です。「子どもの笑顔が親の笑顔に繋がります」と、30人学級や大学生・専門学生の入院費を無料にするなどの公約を掲げます。中学生がまちづくりを考える「子ども会議」で学校トイレに生理用品の常備提案があった際には、2カ月弱で全小中学校に設置を実現しました。「子どもに自分の発言が周囲を動かす、より良い方向に向かう経験をしてほしい。まちでの生活を自分ごとと捉えることが、町政への

当事者意識を育みます」と話します。スピーディーな決断と実行の裏には、常にアンテナを張り準備を怠らない周到さがある井俣氏。都市に隣接する「丁度級」のまちから、東郷町に住みたい！と熱望される「超ド級」のまちへ。人口5万人の市への青写真はすでに描かれています。



第3回 東郷町子ども議会

上)「子ども会議」では、子ども議員の質問に真摯に答弁 右) 町制50周年のお祝い給食は子どもたちと一緒にいただきました

さんごくんがインタビュー 町長の本音を聞くガオ！

1期目に「コレはやったぜ！」と思った施策は？

町民や他市町村から評価されるのは「オーガニック給食」だね。町産の有機野菜を使った地球にやさしい給食だよ。「あいちのかわり」を使った米粉のオムレットは大人気！個人的に達成感があったのは、全アレルギー対応の「にこにこ給食」。アレルギーがある子に友達と一緒に給食当番をして、同じメニューを食べる「おいしいね」と言い合う経験をさせてあげたかったんだ。給食センターの職員さんや栄養士さんたちが、がんばってくれたんだよ。

2期目に絶対実現させたい計画は？

「5千円分の商品券配布」だよ。社会情勢からいろいろなものの値段が上がっているし、コ

ナ禍もあって、あまりお金を使いたくないよね。だけど、買い物をする外食をすると地域の店が元気になると思うんだ。高齢者の外出を促して、引きこもりも防げるよ。まちを活性化して税金収入を増やし、町民に還元する好循環を作りたいと思ってるよ。商品券は「ばらまき」ではなく「種まき」なんだ。

井俣町長の目指す町政のあり方を教えて！

町民みんなが幸せで、笑顔があふれるまちを目指しているよ。「こうしたらもっと良くなる！」という声や声やいろんな意見、早く実現することが大切なんだ。どのくらいお金を使ったってどんな手段で実現させ、どれだけ暮らしが良くなるのかを、しっかりと発信していくよ。そして「東郷町で暮らしたい！」というファンをもっと増やしたいね！

取材で発見！ 井俣町長の あんな顔こんな顔

公務で見せる真面目な顔に隠された、意外な一面を紹介します！

超！負けず嫌い

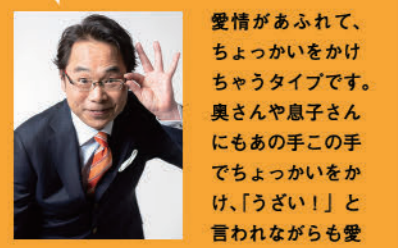


超が付くほど、しかも変なところで負けず嫌い。けん玉大会が開催された時には、公務の合間に、夜中にこっそり、寝ても覚めて練習に励んだそうです。何事にも真剣に楽しむ姿勢ゆえ、負けず嫌いなんです！

お母さんっ子なんです

人生で影響を受けた人は？の問いに答えたのは亡き「お母さん」。人を喜ばせるのが好きなのは母親譲りだそう。お母さんの料理で一番の好物は「じゃがいもの炒め物」。もう一度食べたいと願う、思い出の味です。

ちょっかいかけてたいタイプ



愛情があふれて、ちょっかいをかけちゃうタイプです。奥さんや息子さんにもあの手の手ではちょっかいをかけ、「うざい！」と言われながらも愛情を表現しています。いつまでも少年の心を忘れません。

デートプランも綿密に！

若かりし頃、女の子をデートに誘うのにも事前リサーチと前準備を徹底していたのだそう。相手の好みを調査し、どう喜ばせるかを考えてプランを練り上げていました。プランニングに長けているのはその頃から。

通学路で腹ごしらえ

家から学校に着くまでに、アケビの実がなっている場所や、柿をくれる農家に寄り、腹ごしらえをしながら登校していたという井俣少年。町長が守りたいのはそんな自然が残る、人の温かみがある東郷町です。

